

〈東京都立大島海洋国際高等学校 TEL:04992-4-0385 FAX:04992-4-1764〉

メールアドレス：S8000531@section.metro.tokyo.jp

HP アドレス：<http://www.osima-kaiyokokusai-h.metro.tokyo.jp/index.html>

I 類国際航海学習

5月7日から20日まで、国際系の国際航海学習が行われた。今回はセウォル号の沈没事故があり、交流会での太鼓・踊りの披露は中止した。担任で公民科担当の林先生が引率教員として乗船しての感想です。

国際航海乗船実習に参加して

林 伸生

本校にとってメインの行事である航海実習に乗船したいとの願いがかない今回、国際航海に担任として参加させていただきました。

率直な感想として、改めてわが大島海洋国際高校が日本中に誇れる学校であることを再認識いたしました。2週間船内生活を仲間たちと共に過ごす中で、共に協力しあう精神、船酔いの中での4時間ワッチで立ち続ける忍耐力。苦しい中もうだめだと思った時にあと一歩踏み出す勇気。韓国での積極的な国際交流。朝さわやかに挨拶する、大きく正確な声、正しい姿勢や服装等、すべての訓練に社会生活を送る上での大切な要素が船の上ではありました。共に船内作業をする中、生徒1人1人の日々の成長を目の当たりにし、改めて「この環境で学べる生徒は幸せだな。」と実感しました。私自身、生徒と共に過ごす2週間はかけがえのない時間でした。

しかし、大切なのは今回の実習で得たことをこれからの生活で、また将来に向けてどう生かしていくかということです。私は今回得た経験を生徒と一緒にこれからの学校生活に還元して、さらに誇れる「海国」にしていこうと決意しました。ご協力ありがとうございました。



左 釜山駅に設置されたセウォル号犠牲者への献花台にて。



右 2次航海出迎えの様子

【生徒感想】 乗船をふりかえって

鈴木 菜奈加

私は1年生の時、基礎航海で酔ってすごく辛い時にあまり動けていない所があったので、「とにかく酔っていてもできることはやる。そして、自分の目の前にある仕事、行事を一つ一つていねいにこなしていく。」ということを第一にこの乗船にのぞみました。

航海中、一番頑張れたのが4－8ワッチでした。ちょうどワッチに入った時から海が荒れはじめ、案の定、私は酔ってしまいました。意地でも最後までやろうという気持ちで乗り切ることができました。

私は声を出すのが苦手ですが、ヤシズリ、棒ズリでは、船長に言われた「一步踏み出す」という言葉が頭の中にあっただので、ここしかないと思い、自分なりに一生懸命がんばりました。

国際交流は釜慶大学の学生さんとたくさん話せてよかったです。大学のこと、進路のこと聞けてすごく勉強になりました。大学生が日本語と英語をペラペラ話せて、安心してコミュニケーションがとれました。大学生が



とてもフレンドリーでしたが、今思うともっと自分から積極的に話しかければ良かったなあとと思っています。3日目に慶州に行った時も小さな国際交流がありました。同級生をはじめ、中学・高校・大学生といろいろな世代があつまって、「一緒に写真をとってくださいませんか?」「どうやってここまで来たの?」と本当に積極的に話しかけてきました。すごく羨ましく、私もそんなふうに積極性がある人になりたいと思いました。お年寄りも日本語で話しかけてきてくれて、韓国と日本の昔にあったことなどを感じながら、有意義にお話をすることができました。国際交流はすごく楽しくて、とっても有意義なものになったと実感しています。

最終的に行きよりも帰りの航海で、日に日にみんな協力や連携ができてきたので良かったです。この貴重な経験を忘れず、学校生活や部活などでも生かしていけるようにします。一生大切にしていきたいです。また、このような体験ができたのも、船長をはじめ船員さん、先生方のおかげです。ありがとうございました。

安全指導の日

5月10日(土)平成7年5月13日に起きた海難事故を繰り返さないため、安全指導の集会が行われました。今まで5月13日に実施していましたが、今年度は第二土曜日に実施しました。当時を知る教員からの説明後、校門脇にある慰霊碑の前で碑文の朗読と黙祷をしました。



セーリング部 都大会 1 位 関東大会出場

5 月 10 日・11 日にセーリング部の都大会が行われ、1 位となり、6 月 7 日・8 日に山中湖で行われる関東大会に出場することになりました。

第一学年大島南部散策 ～K・M・T 海国ミッションツアー～

5 月 24 日(土) 第一学年総合的な学習の時間と日本文化の時間に「地域理解学習」として、学校周辺の散策をしました。途中、いろいろな課題をこなしつつ、親睦も深めました。



写真はミッションにより撮影した一部です。

左上：波浮港見晴らし台

左下：秋廣平六翁像

右上：鉄砲場の陸軍防空壕

カッター部 横浜港カッターレースに出場 女子チーム4位入賞

5 月 25 日に横浜港カッターレースがあり、カッター部員、保護者(6 期生とカッター部)が参加しました。

カッター部の女子部員は 2 名のクルーと 7 名のマネージャーがいます。試合に出られる機会が少ないため、保護者の方にもご協力いただき、大会参加の機会を確保しました。

「女子でクルーは大変だけど、一生懸命練習してきて良かった」という感想が印象的でした。



ボランティア部活動報告「車いす寄贈」と「弘法浜海浜清掃」

6月2日アルミ缶の売却代金で購入した車いす2台を大島社会福祉協議会へ寄贈に行きました。

昨年の台風災害後大島町と大島社会福祉協議会との間で災害時に協力する体制ができ、今回の寄贈式には社会福祉協議会会長と大島町町長が来てくれました。町長から「災害時には要介護者を避難所などへ移動させる時に車いすが必要になります。大島海洋国際高校の取り組みに感謝している」と言って頂きました。

今後も私たち部員はリサイクル及び社会福祉活動に頑張っていきますので、みなさんもお協力ください。

弘法浜での海浜清掃にも参加しています。夏の海水浴シーズンを控え、こちらも協力をお願いします。



古本の提供にご協力下さい！

図書委員会では、例年学校祭で行われる古本市で販売する古本の提供をお願いします。本はどのような物でも構いません。お手元にいらなくなった本やマンガがありましたら、ぜひご提供下さい(雑誌不可)。また、誠に勝手ながら送料はご負担下さいますようお願いいたします。

島内の方で多数ご寄付いただける場合、こちらからお宅まで引き取りに伺います。下記の電話番号にご連絡下さい。(写真は昨年の様子です)



古 本 送 付 先

〒100-0211 東京都大島町差木地字下原

東京都立大島海洋国際高等学校 図書委員会古本市係(担当：西村)

TEL 04992-4-0385

古本市の売上は、「大島町移動図書館車ひまわり号」および島内中学校に全額寄付します。古本市は皆様が寄付してくださった本のおかげで継続しています。古本の提供にご協力下さい。よろしくお願いします。

都立大島海洋国際高等学校 図書委員会